



11月1日現在在籍数 284名

気仙沼市立松岩小学校

■ 本校の教育目標 ■

志を持ち、
かしこく、やさしく、たくましく
生きる児童の育成

令和6年度 学校だより NO. 7

令和6年11月1日（金）発行

メディアコントロールウィーク ～御家庭の協力・励ましに感謝～

気仙沼市立松岩小学校 校長 佐々木 裕作

2学期始まって間もない先月の19日（土）に、令和6年度の学習発表会を行いました。今年度は、人数制限等を行わなかったため、親御さんのみならず、多くの祖父母の皆様（遠方からいらっしゃった方もいるということを知りました）にも御来校いただき、子供たちが一生懸命に取り組む姿を御覧いただけたのではないかと考えています。また、優先席のスムーズな入替にも御協力いただき、感謝申し上げます。

さて、2学期始まって学校ですぐに始めたことがもう一つあります。

それは、「メディアコントロールウィーク」で、今年度から新たに始めた取組です。まずは、メディアコントロールウィーク終了後の親御さんの感想をいくつか紹介します。

- ・家族みんなでメディアから離れてみると、時間に余裕ができていつもより早めに寝て、朝もすっきり起きることができました。
- ・適度なメディア使用ができていたと思います。意識して取り組んでいたためか家族でトランプや外遊びができて、楽しかったです。
- ・何気なくテレビを見ていた食事の時間。改めて会話が増える時間だと思いました。
- ・しっかり目標を立て、実行しようと努力しているのが伝わってきました。一緒にお料理、楽しかったです。
- ・これからも大人も一緒に気を付けていきたいと思いました。メディアから離れて、家族の時間も大切にしたいと思います。
- ・親もなかなかメディアコントロールができていないため、食事中にテレビを見てしまうことがありました。子供だけでなく、親も一緒に考えることが大事だと思いました。

ここに紹介したのは、ほんの一部分ですが、メディアの視聴をコントロールすることで、時間に余裕が生まれること、家族団らんの時間が増えることなど、そのよさを実感された方が多いようでした。

この取組を行うことにした経緯については、令和6年10月15日発行の保健だより～メディアコントロール号～でお知らせしているとおりでありますが、メディアの長時間視聴が、子供たちの体や心の成長に大きな影響を及ぼすということが言われており、よりよく成長するために自分自身の生活習慣を見直す一助としてほしいという思いがあり、実施することとしました。

親御さんの感想の中には、次のようなものもありました。

- ・普段いかに私たちがメディアにコントロール（支配）されているかということを感じました。

子供たちは、生まれた時からすでにたくさんのメディアに囲まれて生活をしています。また、パソコン、タブレット、スマートフォン等の通信機器は、現代社会では必要不可欠なものとなっています。それらとどのように付き合いしていくのか、どう上手に利用していくのかということは、子供たち自身が学び、付き合い方を自分で決め、行動に移すこととなります。メディアにコントロールされるのか、メディアをコントロールするのか…。その選択が、子供たちの生き方に大きく影響することでしょう。

今回の実践を通して、御家庭で継続できる部分がありましたら、是非、続けてみてください。学校としては、年度内に再度実施する予定です。

最後に、こんな感想もありました。

- ・「さんま!」「めだか!」合言葉のように。本人も「あ、そうだ!」と気を付けていました。

このコース名ですが、私と優那先生で考えました。気仙沼と関連がありそうな言葉で、短く、覚えやすく、段階が分かりやすいものにしようということになり、「めだか」「さんま」「かつお」「まぐろ」になりました。子供たちにも親御さんたちにも分かりやすかったようなので、喜んでいるところです。